

広域避難場所の見直し説明会実施結果票

市民参加の概要	広域避難場所の見直し結果説明会
実施年月日	平成30年6月5日、10日
実施回数	3回
参加者実数	36名
担当課	市民安全部防災対策課政策担当

I 述べられた意見、意見に対する回答

(意見1)

平成29年10月に行われた広域避難場所の検討状況の説明会の際には、「避難有効面積」という名称であったが、今回の説明会では、「使用可能面積」に名称が変わっている。何か理由があるのか。また、「避難有効面積」についての説明がないため、初めて説明を受けた人には分かり辛いのではないか。

(回答1)

名称については、検討状況説明会の際には十分な名称の使い分けができておらず、検討を重ねていく上で、名称を明確に使い分けてきました。また、「避難有効面積」についての説明は、地域の自主防災組織に説明を行った際に、経過の説明よりも結果の説明をしてほしいとの要望があったため今回の説明会では割愛させていただきました。

(意見2)

茅ヶ崎ゴルフクラブについては、再開発が予定されているが、事業者の募集にあたり安全面積の再検証はするのか。

(回答2)

今回説明したものが検証結果のため現時点で再検証は予定しておりません。

(意見3)

津波からの避難場所もあるのか。

(回答3)

津波一時退避場所という一時的に津波から身の安全を確保する避難場所がございます。

(意見4)

新規指定の考え方に踏切や河川の横断は避けるとあるが、萩園地区や西久保地区の場合、横断せざるを得ないのではないか。

(回答4)

該当地区に関しては地域内での広域避難場所の確保を検討したが、適切な候補地がないため、現状では横断または寒川町の田端スポーツ公園となっております。

(意見5)

萩園の土地改良区は指定できなかったのか。

(回答5)

指定にあたっては、管理者の同意を得る必要があります。当該地は、地権者で約200人おり、現実的に指定は困難です。ただし、今回、広域避難場所ではないが、大規模延焼火災のおそれの低い地域というものを地図上で表しており、当該地はその中に含まれます。

(意見6)

萩園の土地改良区の道路だけでも指定はできないのか。

(回答6)

萩園の地域も含め、市域全体として、引き続き、避難場所の確保に努めて参ります。

(意見7)

すべての小中学校が指定されていないが理由はあるのか。また、湘南シーサイドカントリー倶楽部は指定しなかったのか。

(回答7)

すべての小中学校を検証した結果、市街地にある小中学校は周辺が木造家屋で密集しており、安全面積が確保できませんでした。そのため、すべての小中学校を指定しておりません。また、湘南シーサイドカントリー倶楽部については、当該地域が他の広域避難場所でも充足しているため今回指定はしませんでした。

(意見8)

検証する上で火災旋風について考慮したのか。

(回答8)

現在の科学的知見では火災旋風についてどういった状況で発生するのか解明できていないため今回の検証では考慮しておりません。

(意見9)

一時(いつとき)避難場所について検討はしなかったのか。

(回答9)

地域や自治会ごとに任意で決められた避難場所への経由地であるため、市で把握しておらず、点検はしておりません。

(意見10)

大規模な火災がどこでどのように発生しているか分かるような方法はあるか。

(回答10)

大規模な火災が発生した際は、煙が発生し、その煙の流れている方向等を参考に発生場所や避難方向を考えてください。また、その他、ラジオや防災アプリ等で情報収集してください。

(意見11)

新規指定の考え方に踏切や河川の横断は避けるとあるが、避難の際に踏切の横断は想定しているか。

(回答11)

想定しておりません。避難時には駅の自由通路やアンダーパス等の通行を想定しております。

(意見 1 2)

外国人向けに周知はしているか。

(回答 1 2)

広域避難場所に限らず外国人向けの防災情報パンフレット等を用意してあります。また、今年度中に標識についても図記号表記、英語表記する予定です。

(意見 1 3)

各広域避難場所の詳細な資料を追加してもらいたい。

(回答 1 3)

資料に追加しておきます。